

第 1 回 瑞穂市老人福祉計画策定・推進委員会 会議録

日 時 平成 26 年 8 月 5 日（火） 13 : 30 ～ 16 : 00

場 所 瑞穂市役所 3 階 議員会議室

1 開会

2 あいさつ（市長）

3 委嘱状交付

4 自己紹介（各委員、事務局）

5 会長及び副会長の選出

（会長） 國枝武俊 （副会長） 大藪元康

（会議） 公開 傍聴者は 5 人

（会議録） 要点筆記 委員名非公開 会議録の確認は会長と副会長が行う

6 議事

（1）老人福祉計画策定の概要等について（資料 1）

事務局	事務局より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人福祉計画の法的位置づけ ・ 計画の期間とスケジュール ・ 策定の流れ ・ 策定内容 ・ 国の動向 ・ 瑞穂市の高齢者の現状
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>専門的な言葉が入っているので難しいかと思いますが、まず、老人福祉計画策定の要諦について、何かご質問なりご意見をいただいて、その後、高齢者の現状について、ご意見をいただくよう進めたいと思います。</p> <p>では、この老人福祉計画策定の要諦について、何かご質問いただければと思いますが、いかがでしょうか。皆さん分かりました？</p> <p>では、要諦は皆さん理解されたということで、瑞穂市の高齢者の現状について、何かご質問、ご意見等ありましたらいただきたいんですが。</p> <p>これは、これを基にして 2025 年までの推計をしていくということですか。瑞穂市では作ってないですか。</p>
事務局	瑞穂市単独の人口動態は、企画の方で作っております。
会長	3 年後とかは、分からないですか。
事務局	今、手元に資料はありませんが、参考にお出しできるものはあります。
会長	2025 年には瑞穂市の場合、かなりの割合で高齢者が増えてくるかと思いますが、全国平均と比べると低いですかね。
事務局	そうです。低いです。
会長	いかがでしょう、特になければ議事の 2 に入りたいと思います。お願いします。

(2) 老人福祉計画アンケート調査結果について (資料2)

事務局	事務局より説明 ・調査対象及び抽出方法 ・調査方法 ・回収率 ・報告書の見方
会長	ありがとうございます。 今の老人福祉計画アンケート調査報告書について、何かご質問等ありますでしょうか。ないようですので、次にいきます。

(3) 前期計画における事業の現状と今後について (資料3)

事務局	事務局より説明 ・現計画書の第4章の具体的な事業の説明
会長	今の資料3について、何かご意見ありますか。
委員	今、事務局のおっしゃった、今後、力を入れる事業は、何ておっしゃいましたか。申し訳ないです。
事務局	事業名で、7ページの新規事業の中の4番目、地域ケア会議ですね。 今までも個別のケースについて、この名称で会議を行っていたのですが、国の方から、今後、市の施策と言いますか、方針を出すような形でやってくださいということですので、現状と今後には、認知症部会とか介護予防部会とか書かれていますが、そこまでいくのかどうかは別としまして、今年度は、準備期間としてやっていきたいと考えております。
会長	現在の実績値や、いろんなサービスがたくさん書いてありますが、国が指定してやっているのか、瑞穂市がこういうことをやりたいということで作っているのか。
事務局	ここに挙がっている内容につきましては、おそらく、前回の策定委員会も含めまして、市でやりますという方針で作られたと思いますので、もちろん、国からもやってくださいというのはあったかと思いますが、市は市で、老人福祉施策でやるということだと考えております。
会長	20も30も事業をやるというのは、もう少し大きくしてやるということ、市で検討されているのか気になります。 小さく決めていると、変更しようがないというか。
事務局	今のお話の中で、関連するかどうか分からないのですが、実は、この老人福祉計画は、市がこの事業をやりますと書いてありますが、実際に参加していただいたり、色々関わっていただくのは、市民の皆さんでいらっしゃいます。 老人福祉に限らず、最近では地域で、皆様方で考えてくださいますというのが多くなってきております。どんな施策でも今はそうです。 ひとくりに地域と言いましても、自治会単位で、本当に小さい自治会もあれば、世帯数が、400も500にもなる自治会があるという現状もございます。 最近、他市町のことも学んできまして、小学校区で、もう少し固まってできないだろうかということを探しています。 自治会なんかでも、校区ごとに連合会が立ち上がったりして、昔の村落だけではなく、もう少し大きなところで考えていこうと、防災も含めて考えていこうという流れができつつあります。

	<p>賛否両論あると思いますが、そういったところで、例えば、地域のサロンであるとか、老人クラブでもそうですが、この集団で大きく考えられないかなと。</p> <p>そういうところが、だんだん軌道に乗ってくれば、こうした事業も大きくお願いできるんじゃないかなと期待を込めて考えております。</p>
会長	何かその他、ご質問とかございませんか。
委員	<p>認知症の方が、どんどんこれから増えつつあると思うんです。</p> <p>それで、内容を見てますと④「忘れん脳教室」は、開催会場1か所を3か所に増やしたということですが、まだまだ少ない。</p> <p>受ける人も、なかなかいない状況じゃないかなと思います。やはりこういうところに力入れていただきたい。</p> <p>今の「忘れん脳教室」の開催会場が3か所というのは、どの程度のものを、どういう会場でやってますか。分かる範囲で。</p>
委員	<p>今の「忘れん脳教室」の会場は、瑞穂市からの委託で、昨年から、3か所に増やして、3か月1クールで年4回、1教室5名くらいで、全部で4教室になります。</p> <p>毎回カリキュラムを組んでサポートしていきませんが、年間20名くらいの方に参加いただいているのが、今の現状です。</p> <p>ここを卒業されたあとに⑥「すまいる」という事業につながり、「忘れん脳教室」を使われた方が、集われる場所になっています。</p>
事務局	<p>「すまいる教室」の他に、「元気教室」も毎年、会場を増やしておりますが、今年も防災コミュニティセンターを増やしましたし、二次予防の教室の後の受け皿みたいな形で、今後も会場を増やしていきたいと考えております。</p> <p>「すまいる教室」は運動系の教室で、「元気教室」は全般の脳トレも含めた教室ですので、両方2本立てで、一般高齢者はやっていきたいと考えております。</p>
委員	新規の②「買い物支援事業」で牛牧と本田団地がモデル地区としてとありますけど、どういう方法でやってくの。車は市がやって、運転手は誰がやるの。
事務局	<p>買い物支援につきましては、現在、社会福祉協議会の方が先行して研究をいただいております。</p> <p>現在、本田団地と牛牧団地が、高齢化率の特に高いところでありまして、40%を超えております。</p> <p>本田団地では、近くに買い物ができるところがなくなったことと、牛牧団地も早くから団地中のマーケットがなくなってしまって、コンビニはあるんですけど、野菜やら肉やら日用品を売っているところがなくなってしまったということで、要望もあったわけです。</p> <p>ご要望いただきまして、市と社会福祉協議会と相談しましたところ、どうやら県社協の補助メニューがあるというようなところで、研究が始まっており、車両については、社会福祉協議会が持って、地元の要望に対応するという形で、話し合いをしてみえる段階です。</p> <p>問題点として、運転手は誰がやるのか、お客さんは本当にあるのか、定期便のような形にするのかといったことがあるようですが、簡単に、お金を出して車を買って、すぐできるかという、そういうものでもなさそうです。</p> <p>市としては、コミュニティバスなど交通面にしても、別の交通会議の方で、お話が出てるようでございますが、社会福祉協議会が、これから行おうとしてみえることにつき、話し合いに加わりまして、期待をしているというスタンスでおります。</p>
委員	そういう支援も良いけども、高齢者に運転しろと言ってもできない。

	<p>保険は社会福祉協議会で入っていると。</p> <p>本田の中にも運転する人がおらんというのが出ている。</p> <p>だから、車の運転手を探せばそれは非常に良いことだけど、そこらへん考えないと、何でも作ったって、後の負担ができない。</p> <p>こういうことをしていただくのは、社会福祉協議会も県に申請して通ったら、車を買いたまおうとなつているから、分かるけども、車だけ買ったって運転する人がいないと。</p> <p>これから高齢化になって、みんな運転できないよ。これをやるんだったら、アルバイトとかで運転してもらおう頼んで、こういうのやりませうというのならいいけど、今の本田、牛牧ではおそらく運転する人は、このへんもうちょっと考えてほしいと私は思います。</p>
事務局	<p>確かに、誰が運転手だという問題がありますが、この問題につきましても2025年という今後の問題、高齢者が75歳以上の方々が増えるというところから、高齢者の間の中でも支援される側、支援する側という方々、される側ばかりではなしに、支援する側の人材発掘も、これからの課題だというふうでもありますし、人材を発掘し、高齢者なりに社会貢献していただけることを目指そうとしておりますので、一つご理解をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>老人会でもそういう話が出るので、社会福祉協議会も市も考えてもらわないかんし、私はそう思う。</p>
事務局	<p>おっしゃられる通りですが、この社会福祉協議会の買い物支援事業ですが、買い物に困ってるところだけを見ているわけではなく、地域で支えあいができるような地域づくりを目指すという面もあります。</p> <p>運転手の問題は大きいですが、高齢者と言ってよいのか悩むくらい、お元気な方が増えてきてほしいと思います。</p> <p>何か問題があったときに、そういった支えあいの地域の中で解決していければいいのですが、住民の方の支えあいの力が、どんどんなくなっていくと、お金はどんどん出ていくは、つながりは薄れていくは、介護予防に自分達で取り組むという意識もなくなってくるは、状態も悪くなってくるはというように悪化していくことが考えられます。</p> <p>一つ一つの問題に対して、丁寧に対応していくことができれば、買い物支援だけではなく、大きな支えあいも考えながら進めていけたらと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>2025年に向けて、介護保険で使うお金をできるだけ削りたいということで、高齢者が高齢者を支えていこうにならないと、介護保険は成り立っていないということになりつつあるということなので、このような会議を通じて、個人的には、買物したい人達を支えていくという体制が、非常に大事なところだと思う。</p> <p>一つ一つは立派なことだと思うけど、全体として見たときに、ここにも書いてありますけど、自助公助共助と進んでいくために、10年たっても同じことをやっていいのかと思うので、みんなで助け合うシステムを作らなければいけない。</p> <p>認知症にしても、認知症の方がたくさんおられる。誰が認知症か、なかなか見分けが付きにくいので難しいですが、認知症の方に対し、どうやって地域が支えていくのかを真剣に考えないといけないということで、会議は一杯あるんですね、この会議も含めてですが、いろんな会議がある。</p> <p>けれども実際に、ある利用者に対して、どうやって支えていこうかをやるとうする</p>

	<p>と、その利用者を知っている人だけ集めてやるんですね。</p> <p>新しい認知症の人が出たときに、その人の周辺の人に声をかけて、説明に行って、民生委員に来てほしいとか、医者に協力してほしいとかやるんですね。</p> <p>こういうふうな時になったら、助け合わなくちゃいけないんだという考え方を、みんなに広く周知する必要があるが、なかなかそこは進んでいかない。</p>
事務局	<p>この計画の策定のフローの中で、比較的のスーッと過ぎていったところがありますが、どんな計画を立てる時にも、基本的な理念というものがあまして、最近のいろんな施策をやる時に、必ず地域のつながりというのが、欠かせない事になっています。どんな計画、何でもそうです。</p> <p>老人のことをやっても、障害のことをやっても、児童のことをやってもみんなそうなので、もう少し、最終的には、本にまとめるんですけど、次の会議の中で、もう少し理念のところを、時間をかけてお話ししていこうかなと思います。</p> <p>今日は、今までの施策の現状をお示しして、これについてご意見をいただくのが、この3番目の議題ですので、これを踏まえて、次回、もう少し理念の部分をお話しできないかなと思っております。</p> <p>課長としての考えを言えば、地域にかえて何ができるか、地域づくりだと思いますので、この計画、いろんな施策は、地域づくりの一つだと思いますので、そういう観点から考えてはいきたいと思っております。</p>
会長	<p>変わった斬新なものを。</p>
事務局	<p>ここの議題には挙げてませんが、その他として、先にお話ししてしまうと、同時進行で、総合計画を策定しつつあります。</p> <p>総合計画は、今年と来年の2か年に分けて作る計画ですが、その策定委員さんを、後程、この中から、お一人選んでくれというふうに企画財政課から言われておりますので、この議題が終わりましたら、皆さんで諮っていただきたいということもあります。</p> <p>もうひとつは、まちづくり基本条例というのがございます。</p> <p>これは端的に言えば、市民が主役となり、まちづくりしていくためのいろんな決めがある条例で、この推進委員会というものも毎年開かれております。</p> <p>これにつきましても、この中から一人出してくれと打診がきておりますので、この議題が終わりましたら、二つの委員会について、お一人ずつお願いしたいと思っております。</p> <p>市全体の企画、市政運営の中でも、老人福祉計画が、それだけ重きを置かれているところもありますが、何か市政の中の一環として、これを組み入れていくためには、こういった個別の事業も当然、実施計画として挙げていかないといけないわけですが、もう少し理念の部分を出していければと思っております。</p> <p>その中のキーワードが、地域づくりと考えております。</p> <p>具体的なものがあるかという、まだまだですが、次回までに、お示しできればと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>高齢者の福祉サービスについて、これを今やっておられるということですが、今日、議論いただくことによって、次回、新しい計画を立てるということで、今のうちにご意見いただかないと計画に間に合わないということですが、皆さんどうですか。</p>
委員	<p>数字など、たくさんご意見いただいたんですが、これらをまとめたのが、計画書38頁の体系図になると思っております。</p>

	資料3の1の「健康で安心して暮らせるまちづくり」の大項目が基本方針で、その中の(1)「包括的支援のための環境づくり」ということで、どの部分にどれが入っているか分かると思います。今の議論の中のことにものなると思います。
会長	ありがとうございます。何かその他、ご意見ありますか。
委員	今度の6期計画の27、28、29年について、計画書を作る中で、これまでの推移からシミュレーションしていくことが必要ではないかと、今度の会議までに、今までの人口の推移をお示し願ひまして、いかにこれから瑞穂市がやっていくかを盛り込んでいくと、結果、違ったとしてもいいんですけど。
事務局	一応、先ほど会長さんがおっしゃって見えたものですから、瑞穂市の人口推計がごございますので、お配りさせていただきます。 これは、瑞穂市のというところで、企画部の方へ行って、コピーをもらってまいりました。 各年齢層5歳刻みでの推計で、上の表の下の方に65歳以上の年齢の推計もごございます。 下の方の表は、最近、新聞等で出て話題になりました、女性の20～39歳のお子さん、少子化というところの数字で、市町村によっては、消滅の危機があるよというところの数字が出ています。参考までにです。
会長	この人口推計の資料について、ご質問でもあれば。 2025年での高齢化率は21.8%で低いですね。 それでは戻りまして、資料3についてご意見いただきたいと思います。 例えば、瑞穂市は、認知症に絞って重点的にやるという考え方もあるのかなという、そういうのはどうなんでしょう。
事務局	それは特化してということですか。
会長	特化してというか、大半を認知症の予防やケアにまわしたり。
事務局	昨日とおととい、日曜日もありましたかね、北方町の方でしたが、行方不明になる方は、ご家族からすぐ警察に申し出があると、防災無線を流すということになっております。あまり夜中は流しません。 あれでいきますと、昔に比べると、実感としても、数字としても増えております。たまたま不幸な結果ということもありますが、なんとか見つかって、ご家族の方へ戻っていただける方も多いので、ただ、あれを聞くたびに、なんとかしないといけないなと自分でも思います。 特化できるかは、考えます。確かに認知症予防は、重要なことだと思いますので。地域包括支援センターでも、総合相談でも、認知症の軽い時点から、ちょっと普段と違うかなという相談が増えてきています。 あと、グループホームでも、相談にのっていただく体制が整いつつあります。それらを含めながら、認知症施策を考えているところですが、まだこれからです。
会長	プライバシーの問題もあって、なかなか難しいけど。
委員	徘徊して助かったという話ですが、名神高速まで歩いていかれて、たまたまペットボトルに水を持っていて、そういう中で、幸い助かって、私はその時、自治会長で、朝から見つからないし、いろいろ依頼もして、立ち上げてやろうとした時に見つかって、恥ずかしいとか、そんなこと言ってもらえないんです。とにかく人の命ですから。それは日頃から教育をしていないといけないと思います。
委員	今、認知症の教育って言われましたが、包括支援センターに、家族が認知症かも、もしくは認知症ですという方が多くいらっしゃるんです。

	<p>認知症ですということを、やはり周りに知られたくないと思われるご家族が、どうしてもいらっしゃる。</p> <p>周りに知られたときに、本人が引かれるのではないかと、認知症なんやで家族がしっかりと見とらないかんという、家族に対する批判を、いろいろ言われないかと言われる方がいらっしゃる。恥ずかしいというのも、もちろんある。</p> <p>認知症についてのPRというのは、いろんなところが一生懸命言ってきたけど、まだ、全然広まっていない。</p> <p>新聞、雑誌やCMなどもありますけど、まだ広まっていないと実感としております。ただ、広まらないからやらないではなく、広まらないからこそ続けなはいけないと思います。</p> <p>老人福祉計画の方でも、今後どうしていくというか、人口推計を見ていくと、どんどん高齢になっていくので、急いでやらないといけないと思います。</p>
委員	<p>認知症の方の家族、兄弟のお話しの例があれば聞きたい。</p> <p>そういうのを聞いて、初めていろんな意見が出るんじゃないかと。</p>
会長	<p>プライバシーのことが全面に出てくると、地域包括ケアシステムで、近隣で助け合おうというのが、阻害因子になるため、そういうところの意識改革をやらないといけない。</p> <p>事故を起こした時、誰が責任をとるんだという別問題になってしまう。</p> <p>認知症というのは、誰でも起こりうるということをみんなに知らせて、意識改革をしないと成功しないだろうと思います。</p> <p>広域連合の介護保険と関係してくると思いますが。</p>
事務局	<p>確かに難しいところはありまして、例えば、私は、大変、昔からのしきたりの古い所に住んでおりますので、お隣の家の人がどういう人か分かっている。</p> <p>それこそ、私の先祖は何をやったというぐらい昔の家の地域なので、誰が認知症で、あの人、最近、どこどこに入院していると、そんな噂ばかりです。</p> <p>僕の感覚では、救急車が来ると、ばあっとみんな集まって、見に行くような、そんな村落ですので、濃密すぎて、プライバシーがないようなところに住んでいる。</p> <p>他のところを語れませんが。</p> <p>ただ、さっきの防災無線でもそうですけど、例えば、本田にお住いの78歳の男性の方っていう話をすると、僕らは分からないんです。一発目は分からないんですが、こういう職務でやっているので教えてくださいって言うと、教えてもらえる。</p> <p>誰々さんで、こういう関わりがあったって分かるんですけど、そうでないと僕らでも分からないことがあるくらいです。</p> <p>命がかかってますので、最後、そこはプライバシーもありますけど、危ないという時には、各方面にお話をして、ご家族の了解をとってということにしております。</p> <p>かつて、大変、社会的地位のあった方で、プライドが高い方で、ご家族もそれを思ってみえるのがあって、その方が、おそらく認知症になって家で暴れられた。</p> <p>そうすると、近所の人には知らないなので、大変だと言ってパトカーを呼んだと。</p> <p>実は、以前からそういうことがあったそうなんですが、とても言えなかったと。</p> <p>それを地域包括支援センターが訪問した時、奥さんが、ぼろっと話をされたら。</p> <p>そこから始まって、退院されるころには、要介護をとって、介護保険という社会保険の中に入っていくという道順ができると思うんです。</p> <p>世間で、大変になるんだと言っても難しいなと感じて、もうひとつは、地域差もありますので、隣に誰が住んでいるか分からない地域も瑞穂市にはたくさんあり</p>

	ますので、そのへんも少し区分けして考える必要があると思います。
委員	はっきり言って失礼だけど、民生委員から、個人情報広がることがある。民生委員を選ぶ人が、しっかり選んで欲しい。
事務局	家族のお話をすると、民生委員さんにお話をしてもよろしいですかと言うと、どなたも、民生委員さんに見守っていただくのはありがたいですと言われるので、お話をしています。
委員	民生委員は、なかなかやり手がないです。 民生委員は玄関も入れない。それを聞いて、ああだこうだ言う。 我々も選ばれたからで、手を挙げたわけじゃない。そこだけは強調してほしい。
委員	今、お話にありました民生委員の抽出方法について、お話させていただきたいんですが、民生委員になりたいという方は、非常に少ない。 そこで、自治会長さんは、とにかくやってくれよと、1期でもやってくれよと、1期というのは3年なんですけど、なんとかやってくれよということで、やむを得ず名前を挙げさせていただくというような方策をとっているところがあるわけです。 定例会議にもあまり出席をされない、いろんな研修にも参加はされない、そういう民生委員の方も現実にございます。 我々は、我々なりに一生懸命やっていますけれども、そうでもない方もみえる。口の軽い方も、ひよっとしたらみえるかも分からない。 そういうこともあって、今のようなお話が出たと思いますが、みんな一生懸命やっています。 民生委員の資質を問われましたら、一生懸命やっていますけども、例外としてはそういうところもあり得ますよというお話をさせていただきます。
委員	認知症のある家族の方は、知られたくないというのがあります。 家族に認知症の方がいても、それに気づかれない家族も結構います。 それで行動が変だからといって、その方が亡くなられた後に聞いたんですが、犬の散歩の時に、飛び出したりということもお聞きしたんです。それを聞いて、認知症に対する理解を、家族が持ってみえなかったんだなということがありました。
委員	今、世の中でいっぱい認知症があると言われてて、テレビでも新聞でもいっぱい認知症の人がいるよというのは皆さん知っているんだけど、果たして一般の人達が、認知症というものに対して、正しい理解ができているかどうかというのは、とても疑問があって、私達にとって認知症は、異常でも何でも無い、普通だもんって、なんとか普通に生活してもらいたいと思っているんです。 何をやるべきか思ったときに、一番最初に土台を作らなくちゃいけないので、認知症を受け入れる土台、地域の土台、一般の人達の正しい理解をするということが一番最初で、あともうひとつやらなくちゃいけないかなというのは、認知症を抱える家族の方は、とっても苦しんでみえます。本当に大変です。 家族が自分達だけで介護するのは、ものすごくつらいです。やっぱり理解がないとお話しても話ができないし、みんなに話すこと自体が恥ずかしいということで隠しちゃう。そういうことを話せる場を作ってあげたい。 こうやって皆さん認知症について問題だと言ってみえるんで、この会を通して認知症に対して、ひとつ何か瑞穂市として課題をあげて、今、これだけの意見が出ているのでひとつ方針を挙げて、他のこともやればいいんだけど、瑞穂市としてこういうスペシャルの瑞穂市にしていこうというのを作るのもいいと思う。 家族の人から話してもらわないと、こちらからはいけないですが、たまたま相談し

	<p>に来て、今まで苦しかったんだよと話をされる方が、一杯みえます。</p> <p>別に、うちに入居するというのではなく、こういう話を聞ける場所、そういう人達を受け入れる社会ができるといいかな、こういう社会を作りたいなと思う。</p> <p>先日、JRの裁判あったんですけど、認知症の方が、事件、事故を起こした時に、結局、ものすごい賠償金が家族にきますね。</p> <p>ということは、その前に、社会で、もしかしたら止められたかもしれない。</p> <p>瑞穂市なら、もしかしたらJRの高架、線路に行くまでに止められたというような、近所の人達の繋がりができるといいかなと思います。</p> <p>いろいろ意見もあると思いますけど、そうするといいかなと認知症の専門としては、思いますけども。</p>
会長	<p>これだけ認知症の関心が強いということで、計画にも取り入れていただいて、ぜひ認知症について取り上げていただきたいと思います。</p>

7 その他

会長	<p>その他、何か資料1、2、3通じて、ご質問等ありますか。</p> <p>ないようでしたら、次回までに、事務局に今の意見を踏まえながら計画を立てていただいて、その他の議題に入りたいと思います。</p> <p>事務局から何かありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画策定委員会委員選出 ・まちづくり基本条例推進委員会委員選出
委員	<p>この総合計画というのは。</p>
事務局	<p>これは総合的な市の計画を立てる委員会です。</p>
委員	<p>これはすべての分野ですか。</p>
事務局	<p>すべての分野です。</p>
委員	<p>公募はしてなかったですか。</p>
事務局	<p>市民公募はあります。公募の委員は、それぞれみえます。</p>
会長	<p>委員会の中から、これに関する専門家が集まって。</p>
事務局	<p>という意味です。</p>
会長	<p>何か腹案はありませんか。</p>
事務局	<p>委員会の場合、女性の委員さんを多く入れましょうということになっておりますので、女性の委員さんを選出できればと思っております。</p> <p>まちづくり基本条例推進委員会というのは、いろいろな市の施策を決めるとき、必ず市民の意見を在勤者も含めて聞きなさいということになっております。</p> <p>意見を聞いて、それを反映する。実は、この老人福祉計画も最後にまとめたものをパブリックコメントとって、市民の皆様に公表して、意見を頂戴します。</p> <p>そのことが、まちづくり基本条例に唱ってありまして、こういった進め方であるとか、こういうふうに関わっていった方がいいんじゃないといったご意見を言っていたらいいということなんです。</p>
委員	<p>それは1、2年ですか。総合計画は長いですか。</p>
事務局	<p>任期は、基本2年だったと思います。</p> <p>当然、ご事情で出席できない場合がございますから、それはご欠席で構いません。</p>
会長	<p>それでは、いろいろお願いをしまして申し訳ありませんが、この委員会として、ま</p>

	<p>ちづくり推進委員会には、奥田委員様、総合計画策定委員会の方には、坪井委員様をご推薦していきたいと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>その他、特にございませんか。</p>
事務局	<p>これにて第1回瑞穂市老人福祉計画策定・推進委員会を閉会させていただきます。</p> <p>本日は、長時間にわたりご審議いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>お帰りの際は、お気を付けてお帰り下さい。</p>